

3-11

ターミナルケア

夫婦入居者への看取り介護

最愛の方に看取って頂くために

特別養護老人ホーム 菊かおる園

発表者：ケアワーカー 関口 顕俊	共同研究者：ケアワーカー 西表 直浩
所在地：東京都豊島区西巣鴨2-30-19	
TEL：03-3576-2266	E-mail： kiku@toshimaj.or.jp
FAX：03-3576-2264	URL： http://www.toshimaj.or.jp/s_kiku/index.html

今回の発表の施設 またはサービスの 概要	豊島区西巣鴨の閑静な住宅街の中に位置する100床の特別養護老人ホームです。 デイサービス、地域包括支援センター、ケアハウス棟を併設し近隣にはとげぬき 地蔵尊で有名な地蔵通り商店街があります。
----------------------------	---

〈取り組んだ課題〉

ご夫婦で入居されている利用者の奥様が看取り介護の対象となった。施設での看取り介護を始めて2件目の事例であった。奥様、ご主人それぞれにどのようなケアを行っていくかが重要な課題となった。

〈具体的な取り組み〉

- ・看取りケアプランによるケアの見直しと周知徹底
 - ：身体への負担の軽減
 - ：排泄、食事、体位交換等介助方法の随時見直し
 - ：緊急カンファレンスによる介助方法の統一
 - ：他職種との連携
- ・ご家族の意向（夫婦一緒に最期まで家と同じ施設で生活させてあげたい）への取り組み
 - ：居室環境への配慮
 - ：ご夫婦の距離感を考慮
- ・配偶者である利用者の心のケア
 - ：CWではなくご主人にしか出来ないケアとは？
 - ：ご主人に終末へと向かう奥様の現状をどの様に伝え受容していただくか。

（倫理的配慮に関しては、調査の目的とプライバシーの遵守をご家族へ依頼時に口頭で約束している。）

〈活動の成果と評価〉

- ・ご本人の最期は実際にご主人に手を握られながら静かにそっと息をお引取りになられ、ご家族の希望に沿った看取り介護を実践することが出来た。
- ・職員が新たな看取り介護を経験することにより個々の介護感を見つめ直すきっかけとなった。

〈今後の課題〉

- ・ご家族・ご主人へのケアはその場その場で手探り状態であった。
- ・フロア内の他利用者へのケアは適切に行えたか。
- ・他職種との連携は充分であったか。

〈参考資料など〉

【メモ欄】